



校長スケッチ



令和8年6月10日（水） 校内研修（自ら学びに向かい続ける生徒の育成）

協同学習の アップデート

総社市立総社東中学校 校内研修
協同学習の理論と実践を繋ぐ

岡山県総合教育センター

「協同」と「協働」について

フェーズ	協同 (Cooperation)	協働 (Collaboration)
ねらい	全員が等しく理解し、習得すること	多様性を活かし、新しい解を創ること
教師の迫り方	教え合いの「仕組み」を整える	対立や葛藤を「促し」、問いを深める
生徒の姿	「誰一人取り残さない」支え合い	「誰も予想しなかった」納得解の創出

参考：今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（令和3年3月文部科学省）

成功に導く「5つの仕掛け」



肯定的相互依存

「一人の成功はみんなの成功」という運命
共同体の設計。



個人の責任

「最後は自分がやらねば」という一人ひとりの自覚。



対面的相互作用

互いに助け合い、高め合う具体的な対話行動。



社会的スキル

傾聴、提案、合意形成など、協働するための技術。



振り返りの共有

活動を客観的に評価し、次回の質を高めるプロセス。

神戸親和大学 金山健一 協同学習とは何か？～学習成立のための5要件～ をもとに作成



本年度の研究主題である「自ら学びに向かい続ける生徒の育成」に迫るため、協同・協働学習に関する校内研修を行いました。

講師として、県総合教育センターから2名の指導主事に来ていただきました。

教科の枠を超えて、どのような“仕掛け”を授業に取り入れて行くのが効果的なのか、互いの経験や意見を出し合いました。まさに先生たちの協同・協働学習が行われていました。

日々の授業にフィードバックし、だれもが夢中になれる授業を作ってほしいです。